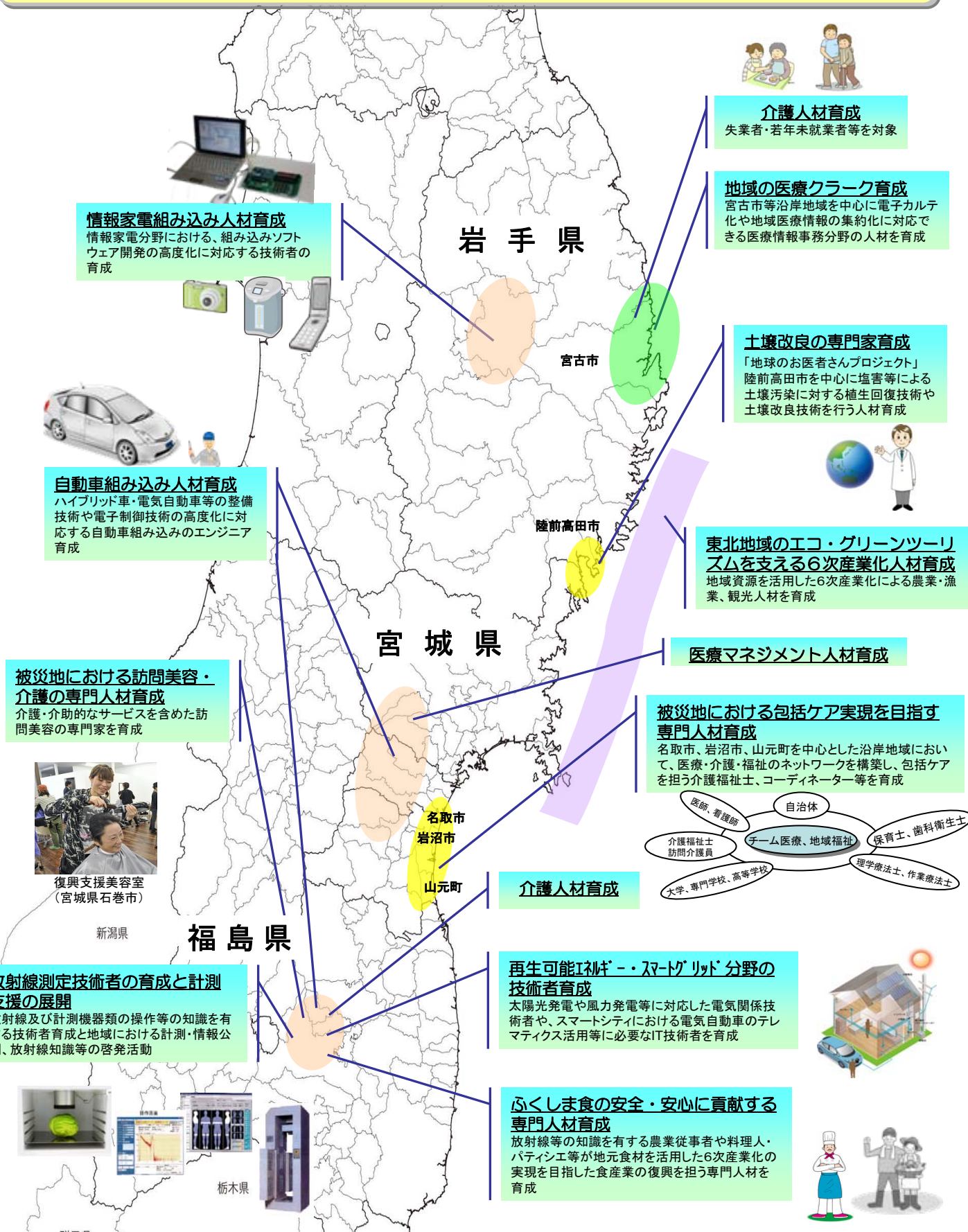


全国の教育機関、産業界等の力を結集して被災地に復興を担う専門人材を育成 ～東日本大震災からの復旧・復興を担う専門人材育成支援事業～

震災により大きく変化した被災地の人材ニーズに対応し、復旧・復興の即戦力となる専門人材の育成及び地元への定着を図るための推進体制を整備し、被災地の専修学校等を中心に、全国の地域の学校・企業・関係団体の協力を得ながら専門人材を育成する取組を支援。

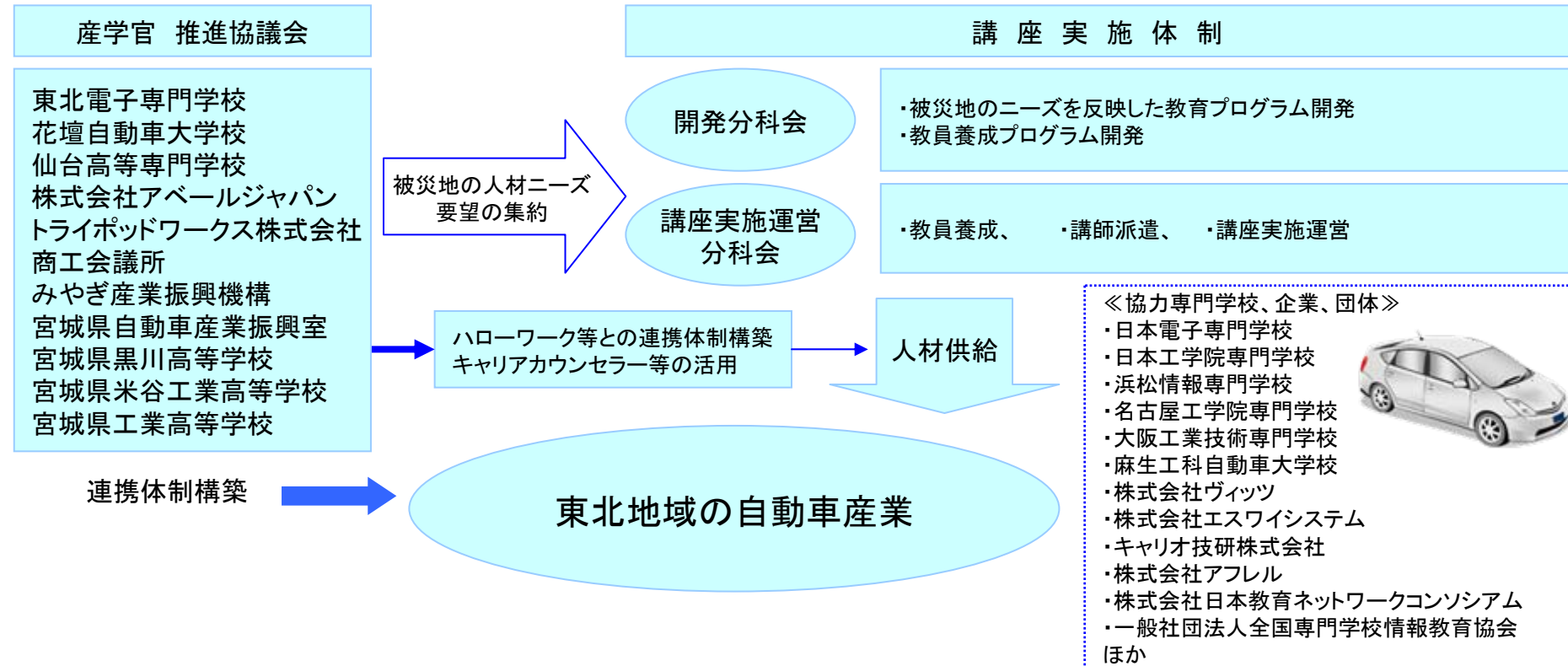


東日本大震災からの復旧・復興を担う専門人材育成支援事業（自動車組込み系分野例）

趣旨・目的

東北地方は、自動車産業の集積が進み国内第3の拠点として、その役割を期待されている。本事業は、産学が連携し、今後の東北地方自動車組込み産業における復興の即戦力となる人材育成のための講座を開講実施する。実施にあたり、産学官による推進協議会を組織し、被災地の人材ニーズを把握するとともにこれまでの教育プログラムをカスタマイズして、学生や離職者の学び直し等に対応した教育カリキュラム開発及び教員養成を行う。講座実施運営については、他地域にある企業、専門学校等に協力を要請し、講座の円滑な運営を図る。

プロジェクト全体像



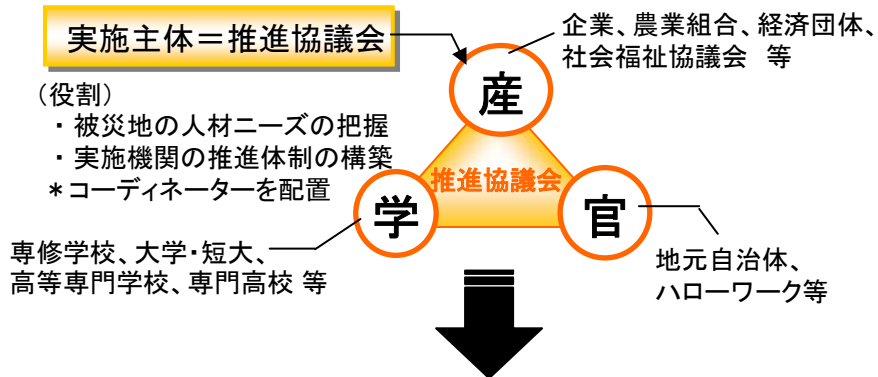
実施要項

- 被災地の人材ニーズの把握
- 教員の養成
- 教育プログラムのカスタマイズ
- 人材育成講座の実施、検証

東日本大震災からの復旧・復興を担う専門人材育成支援事業

平成23年度第3次補正予算額
503百万円
(平成24年度予定額450百万円)

事業趣旨 震災により大きく変化した被災地の人材ニーズに対応し、復旧・復興の即戦力となる専門人材の育成及び地元への定着を図るための推進体制を整備し、専門人材を育成する取組を支援。



【短期的課題】

○ 震災の影響による人材需給のミスマッチ

【中長期的課題】

○ 被災地の人材育成による本格雇用の創出につなげ、復興を強力に推進していくため、震災による人材ニーズの大きな変化に的確に対応した体制整備が緊急かつ重要課題

新産業創出や地元産業の復興に必要な職業能力の向上、被災により失業した者の学び直しなどにより、被災地の雇用の実情を踏まえた専門人材を育成

1. 産業界の高度化等において必要な専門人材育成のための人材育成コース試行導入等

分野 ①自動車組み込み系 ②家電組み込み系 ③医療情報事務
④クラウド等IT ⑤放射線工学 ⑥再生可能エネルギー
⑦食・農業 ⑧スマートグリッド ⑨観光 ⑩その他

【短期人材育成コースの試行導入】

● 産業界の高度化や医療現場の専門人材に必要な知識・技術の向上を図るため、被災地以外の学校・産業界からの支援を受けて、新たなカリキュラムを導入・カスタマイズし、複数校で試行導入。
(自動車組み込み系、医療情報事務等)

【中長期的な人材育成コースの開発・実証】

● 被災地でニーズが高い分野において、産学官の連携により、産業界の高度化などに資する人材育成コースの開発・実証を支援。
(食・農業、再生可能エネルギー、放射線工学等)



スマートハウスと電気自動車

2. 被災地においてニーズが高く供給が不足する分野の教育支援

分野 ①介護 ②その他(医療事務、電気・土木・建築等)

● 介護等に必要の人材育成を集中して行うため、被災地以外からの教員派遣や実習等の支援



3. 専修学校等の就職支援体制の充実強化

被災地(岩手県、福島県、宮城県)の就職支援を行うため、以下の取組を実施。

① 合同就職セミナーの開催 ② 就職支援コーディネーターの配置

【参考:提言等】

「東日本大震災からの復興の基本方針」(23年7月29日東日本大震災復興対策本部決定)
5復興施策(2)地域における暮らし再生④復興を支える人材の育成 他